

## 令和6年第2回議会 説明資料

### 第1 令和5年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計の 決算について【議案第7号】

# 1 令和5年度 **事業概要**

- (1) 用水供給事業
- (2) 主要事業

# 2 令和5年度 **決算の概要**

- (1) 収益的収支
- (2) 資本的収支
- (3) 資金収支

## (1) 用水供給事業

令和5年度は渇水対応のため、

**海水淡水化施設で生産を増量**

通常は1~3万 $\text{m}^3$ /日



4年ぶりに

**5万 $\text{m}^3$ /日** (R5.12からR6.3まで)

## (1) 用水供給事業

### ■ 年間総供給水量

9,210 万 $\text{m}^3$ /年 ※ 令和5年度はうるう年

(令和4年度決算 9,184 万 $\text{m}^3$ /年)

### ■ 一日平均供給水量

251,644  $\text{m}^3$ /日

(令和4年度決算 251,613  $\text{m}^3$ /日)

例年通り

**水道用水を安定供給**

## (2) 主要事業

### ① 海水淡水化施設の設備更新

供用開始後18年を経過し、  
更新時期を迎えた機器の更新

【令和5年度の取組】

- ・ 高圧RO膜設備更新工事 等

【令和5年度決算額】 79,272千円




高圧RO膜設備


## (2) 主要事業

### ① 海水淡水化施設の設備更新

【全体スケジュール（予定）】

2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
高圧RO膜設備 等													
	高圧ROポンプ 等												
				その他機械 等									
	中央監視 等												
						高圧・低圧電気 等							
									特高受変電 等				

 : 機械設備更新工事

 : 電気設備更新工事

## (2) 主要事業

### ② 牛頸浄水場の改良・更新

設備毎の更新計画に基づき更新

(牛頸浄水場・ポンプ場施設の機械・電気設備)



苛性ソーダ注入設備

#### 【令和5年度の取組】

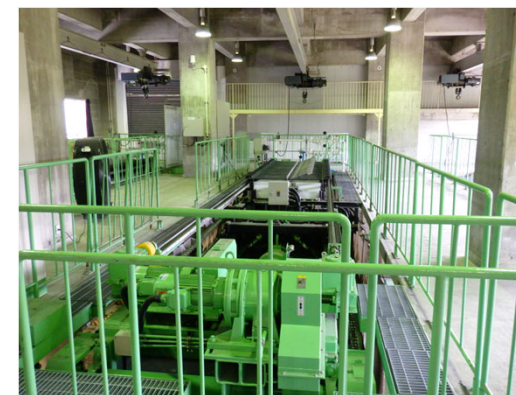
- ・牛頸浄水場 苛性ソーダ注入設備更新工事
- ・宇美ポンプ場外1箇所 電気設備更新工事 等

【令和5年度決算額】 1,072,852千円

## (2) 主要事業

### ③ 水質管理機能の強化

残塩低下事象の再発防止や、  
業務の効率化を図るために実施



牛頸浄水場 脱水機

#### 【令和5年度の取組】

- ・牛頸浄水場 脱水機増設工事
- ・水質計器設置工事

【令和5年度決算額】 46,910千円



脱水機 (イメージ)



## (2) 主要事業

### ④ 管路の耐震化

管路整備計画に基づき、  
耐震化、バックアップ機能を強化

#### 【令和5年度の取組】

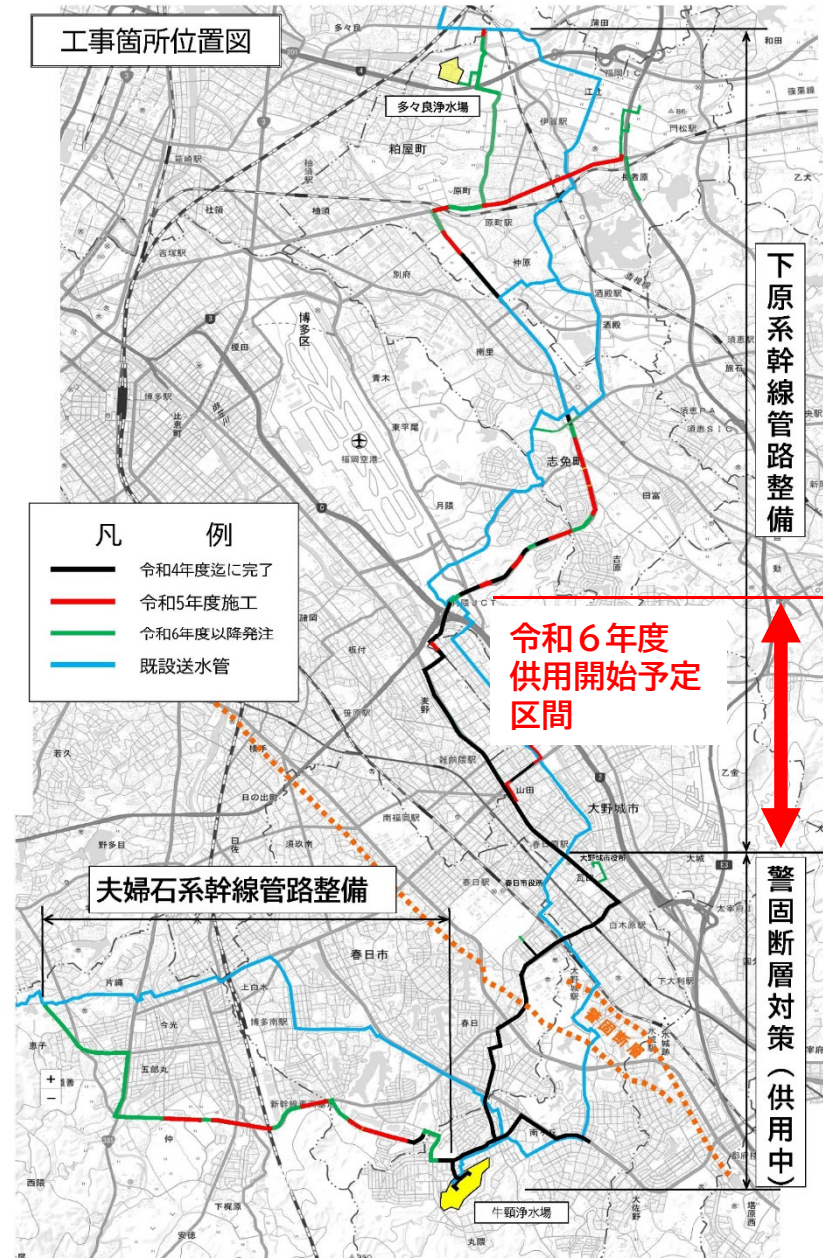
下原系・夫婦石系幹線管路整備  
整備率：約5割 (R5年度末時点)

#### 【令和5年度決算額】

2,327,009千円

警固断層対策 (R4.12) に加え

**下原系の一部(約4 km)を供用開始予定  
(供用率：全体の約4割)**



## (2) 主要事業

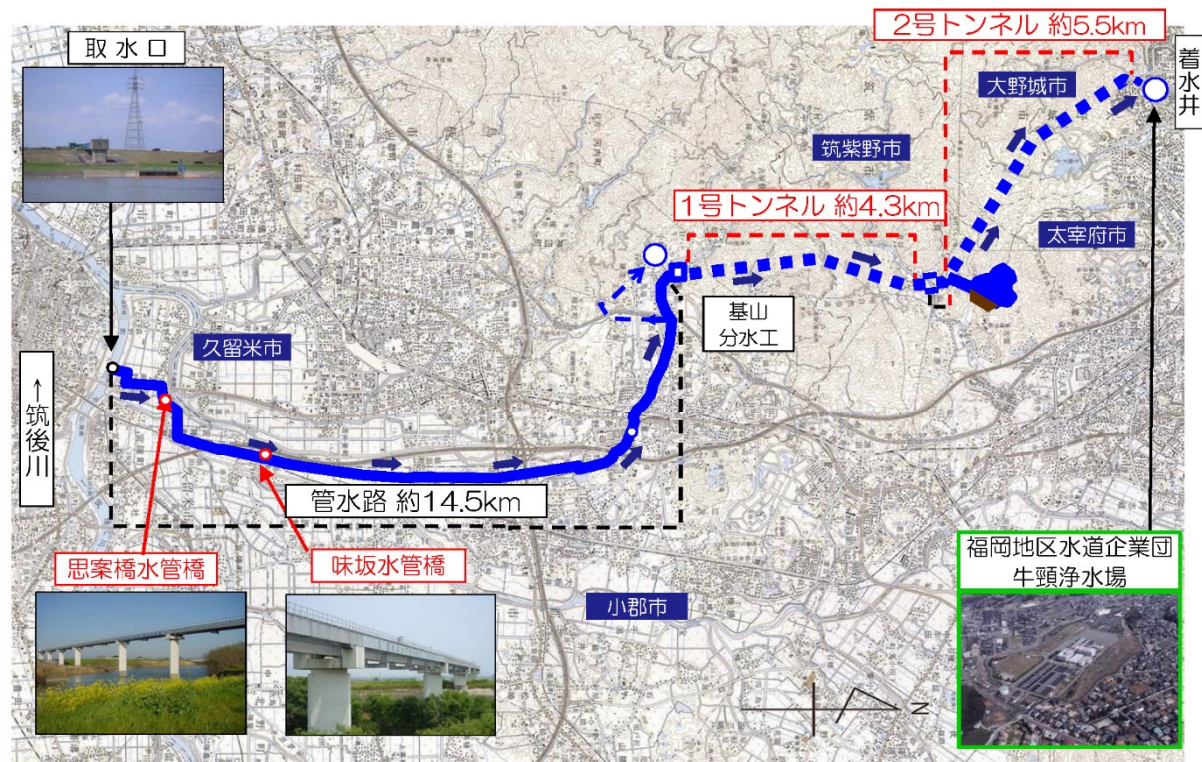
### ⑤ 福岡導水施設地震対策 **耐震補強・管路の二重化** (独)水資源機構が進める事業を連携して推進

福岡導水施設平面図 (赤字は令和5年度実施箇所)

【事業期間】  
平成30年度～  
令和14年度

【令和5年度の実施箇所】  
2号トンネル  
併設水路工事 等

【令和5年度の決算額】  
1,674,964 千円



## 2 令和5年度 決算の概要

# 令和5年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計の決算について 決算の概要

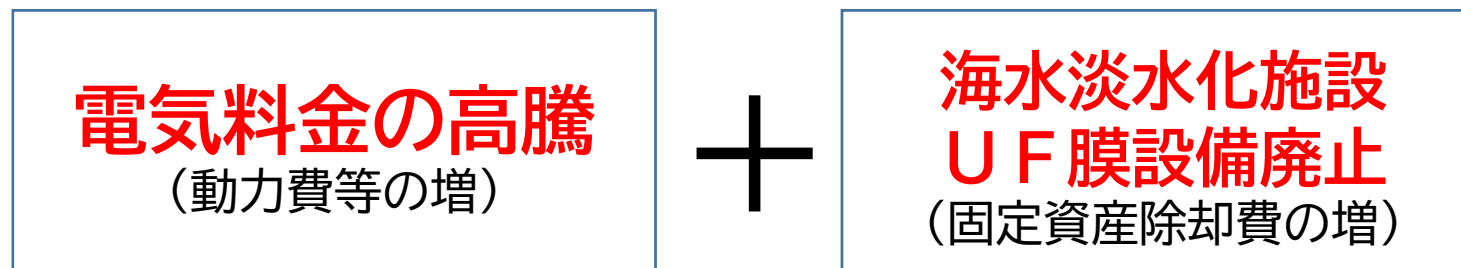
## (1) 収益的収支 (事業に関する収益と費用)

(単位：百万円)

款・項	当初予算額 A	補正額 B	最終予算額 ①=A+B	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	増減 ②+③-①
1.水道用水供給事業収益(A)	13,016	0	13,016	12,939	—	▲ 77
1.営業収益	11,526	0	11,526	11,530	—	4
2.営業外収益	1,490	0	1,490	1,407	—	▲ 83
3.特別利益	0	0	—	2	—	2
1.水道用水供給事業費用(B)	13,036	▲ 37	12,998	12,247	78	▲ 673
1.営業費用	12,894	▲ 50	12,844	12,110	78	▲ 656
2.営業外費用	136	0	136	125	—	▲ 11
3.特別損失	1	13	13	12	—	▲ 2
4.予備費	5	0	5	—	—	▲ 5
単年度収支差(A) - (B)	▲ 20	37	18	692	▲ 78	596
単年度収支差(税抜)	▲ 569	34	▲ 535	160		695

(1) 収益的収支 (事業に関する収益と費用)

当初予算では



569百万円の損失の発生を見込んでいた



決算では

160百万円の**利益**を計上

(1) 収益的収支 (事業に関する収益と費用)

主な要因

① **営業費用の不用額 (決算)** **▲656百万円**

○動力費の減額 **▲137百万円**

○**ダム等管理負担金の減額** **▲184百万円**

○契約落差等による減額 **▲191百万円**

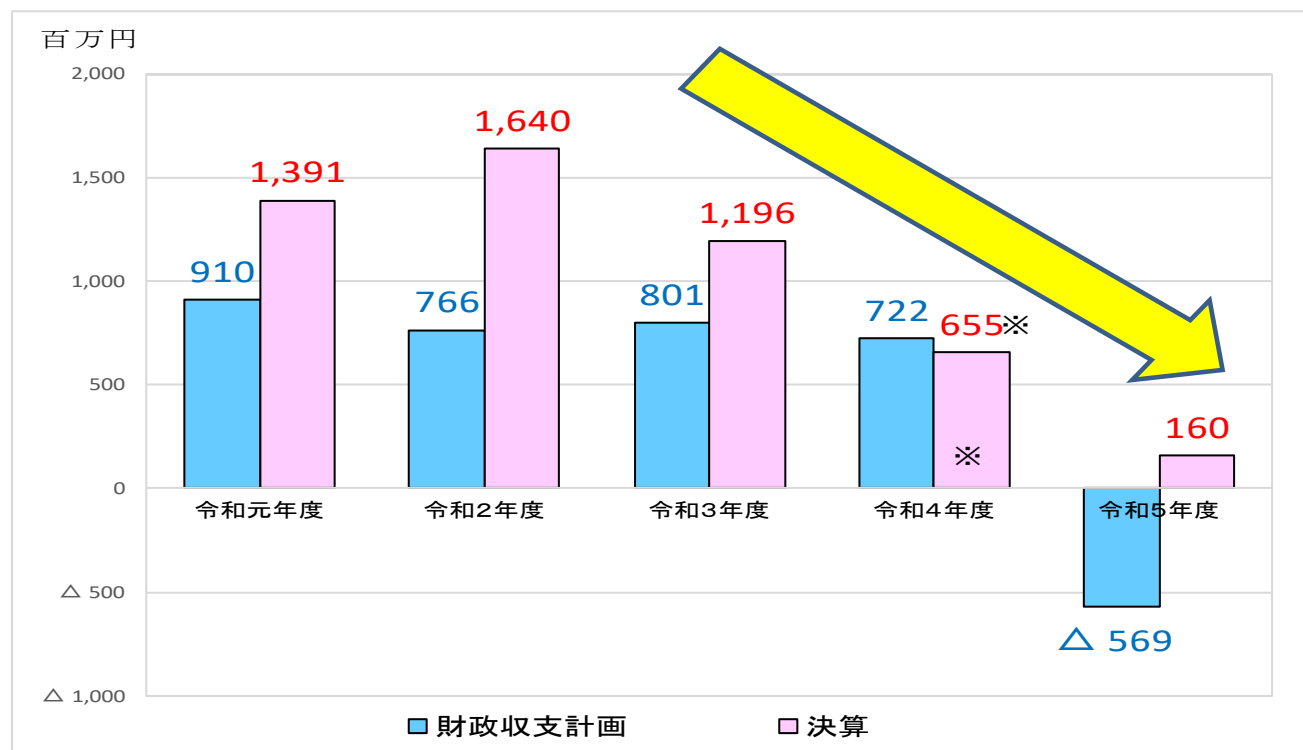
○その他 **▲144百万円**

② **修繕費、委託料の繰越** **▲78百万円**

渇水対応で海水淡水化施設の運転を停止することができず、この間に行う予定だった修繕・点検等について翌年度に繰り越したもの

(1) 収益的収支 (事業に関する収益と費用)

単年度純損益の推移

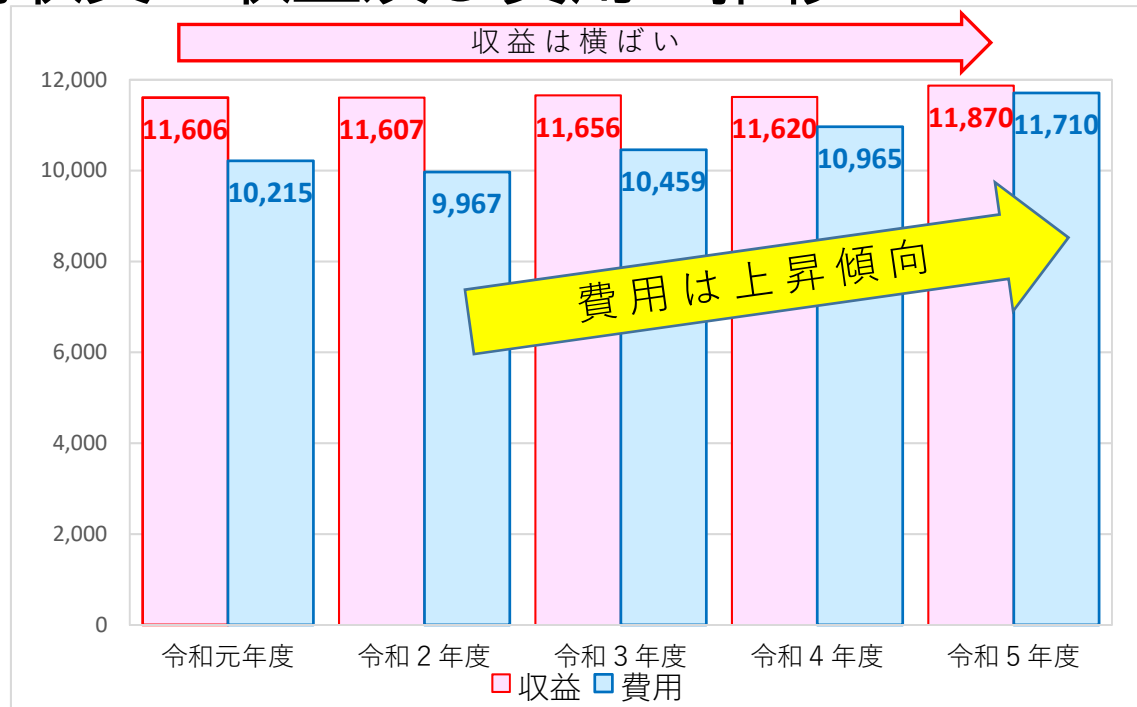


※ 令和4年度の利益は、過年度損益修正益分（非現金）902百万円を含まない。

令和3年度以降**減少傾向**

## (1) 収益的収支 (事業に関する収益と費用)

### 収益的収支の収益及び費用の推移



収益は横ばいながら費用は物価上昇に伴い上昇傾向にある  
今後も費用の増加傾向は長期に及ぶ可能性あり

⇒中長期的な経営について検討が必要



(2) 資本的収支(施設整備等に関する収入と支出)

(単位：百万円)

款・項	当初予算額 A	補正額 B	前年度繰越額 C	最終予算額 ①=A+B+C	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	増減 ②+③-①
1. 資本的収入(A)	2,239	0	0	2,239	2,055	-	▲ 185
1. 国庫補助金	615	0	0	615	439	-	▲ 176
2. 出資金	1,624	0	0	1,624	1,616	-	▲ 8
1. 資本的支出(B)	8,607	0	546	9,153	7,788	940	▲ 425
1. 設備費	4,571	0	546	5,117	3,776	940	▲ 401
2. 国営事業等負担金	1,692	0	0	1,692	1,675	-	▲ 17
3. 償還金	2,301	0	0	2,301	2,301	-	0
4. 国庫補助金返還金	38	0	0	38	37	-	▲ 1
5. 予備費	5	0	0	5	-	-	▲ 5
資本的収支不足額(B) - (A)	6,368	0	546	6,914	5,733	940	▲ 240

(注) 単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある。

執行率 85.1%

(2) 資本的収支(施設整備等に関する収入と支出)

5つの主要事業等を確実に実施

海水淡水化  
施設

牛頸浄水場

管路

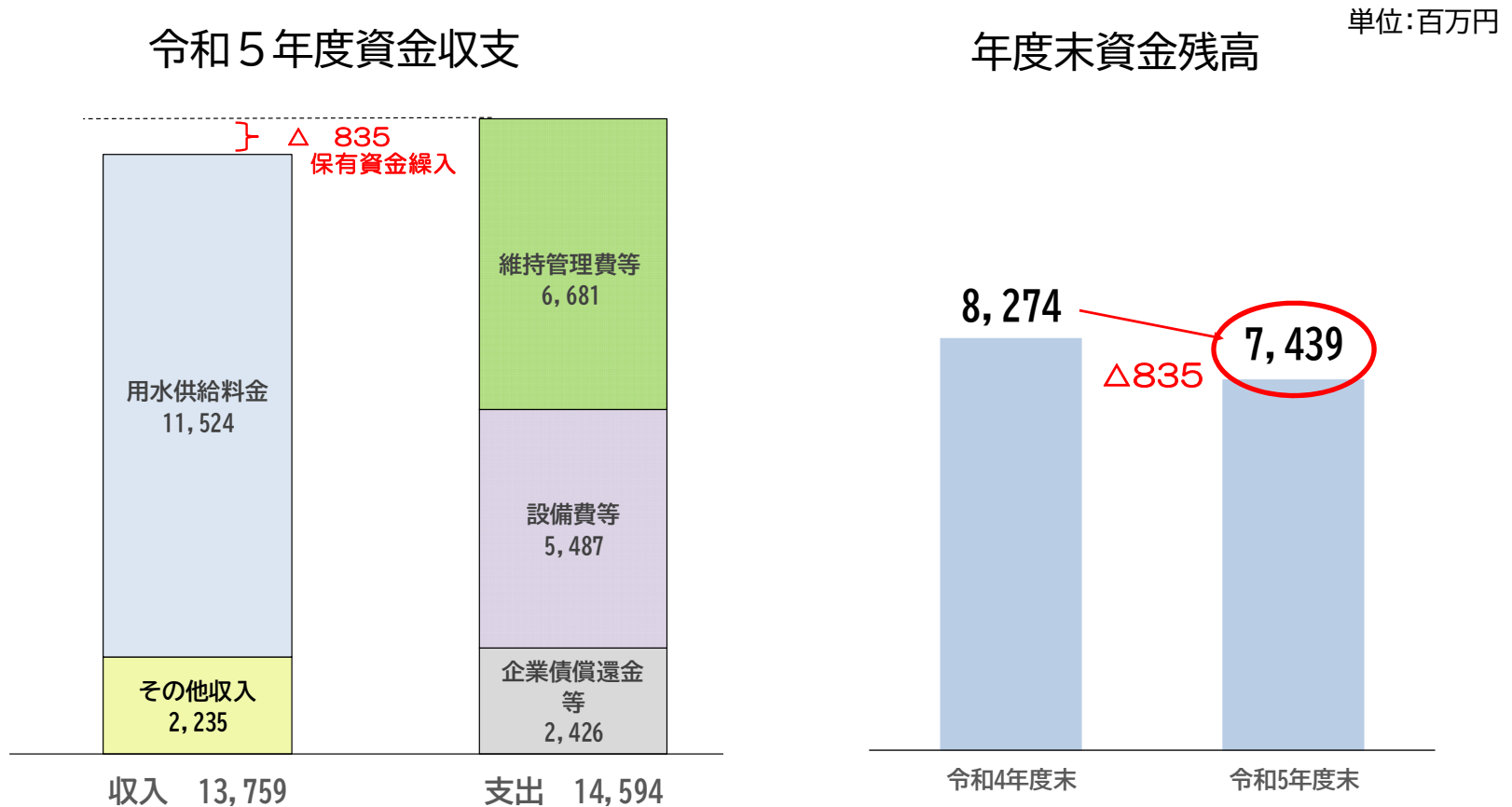
水質管理機能

福岡導水

企業債の発行等

新たな借り入れを行っていない

### (3) 資金収支(一般会計と同様の現金会計ベース)



将来の投資に必要な財源となる**資金を適切に確保**

## 令和5年第2回議会 説明資料

### 第2 令和5年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計の 利益の処分について【議案第6号】

# 令和5年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計の利益の処分について

未処分利益剰余金 1,315

単位：百万円

